

視 察 報 告 書

報告者氏名：研政 長谷川昇

委員会名：都市整備常任委員会

期 間：2018年10月31日(水)～11月2日(金)

視察都市等及び視察項目：

- ◎広島県尾道市： サイクリングポートみなとオアシス尾道・
みなとオアシス瀬戸田について
- ◎広島県福山市： 道路不具合通報アプリ「パ撮ローズ」について
- ◎兵庫県神戸市： ヴィッセル神戸練習場 いぶきの森球技場について

所 感 等：

◎広島市尾道市 サイクリングポートみなとオアシス尾道・みなとオアシス瀬戸田について

尾道は横須賀市の景観によく似ていて、海に囲まれ急な山があり坂の多い町である。人口はかつて多い時期には18万人を要したが、近年では13万人を割ってきている。横須賀同様に近隣の大都市に人口が流出し、人口減少が課題の都市ということでも共通の悩みを持つ。一方、瀬戸内海の島々を合併し、向島・因島なども市域として広がってきた。面積は拡大しているにもかかわらず、人口減少しているということで、人口密度においては1980年代が一平方キロあたり922人であったのに対して、2015年には500人を切り485人と市の財政面でも相当厳しくなっている。一方、瀬戸内しまなみ海道がとおり、向島・因島と島伝いに橋が架かり、四国を結ぶ交通の要衝として重要な位置を占める。また、映画のまちとして、名作「東京物語」、「転校生」「さびしんぼう」などの「尾道三部作」など、海と山坂が広がった景観を生かした作品が多く、



おのみち映画資料館もある。また、魚介系のだしを使った尾道ラーメンなども有名だ。

今回の視察は「サイクリングポートみなとオアシス尾道」である。尾道にある観光地や景観の良い場所を巡る「周遊型観光」の拠点づくりと言えよう。まず、サイクリングの拠点として「ONOMICHI U2」に訪問した。かつて県営の倉庫(西御所県営上屋2号)であった施設を有効利用している点も面白い。平成25年に、3億円の事業費で修繕した。広さは513㎡。宿泊スペース、自転車の修理、レンタルのショップなどのほかレストラン、観光案内所など、地域情報・観光情報の発信基地としても有効に使っている。横須賀においても、ポートマーケットの廃止が大きな課題となっている。一年間は延長というコンセプトが示されたが、その後の展開はまだ見えない。こういった場所を使って、サイクリングポートのような場所をつくることも可能性があり、今後の一つのアイデアとしても有効である。

また、「みなとオアシス」という取り組みは尾道だけでなく、瀬戸内海だけでも20のみなとオアシスが開設され、海を使った交流の拠点として結ばれている。クルーズ船の寄港地として、民間委託として、栈橋の整備がなされ、ライトアップや清掃活動が行われている。

ウォーターフロントビルも旅客船が寄港し、年間76万2千人の寄港がある。横須賀においても、新港、浦賀、久里浜など大型船の寄港が可能な港があるが、平成28年7月に久里浜が「みなとオアシスペリー久里浜」として登録された。今後、具体的な取り組みが期待されるが、今回の視察では、サイクリングでもクルーズ船でもそういった乗り物で横須賀に来ていただいたお客様が、食・観光・歴史を楽しんでいただける回遊性のあるストーリー展開を構築できるかということである。また、観光収入という点からはホテル等の宿泊施設の整備が重要なポイントである。



◎広島県福山市 道路不具合通報アプリ「パ撮ローズ」について

広島県福山市は広島と岡山の間にある人口 47 万の都市である。観光では福山城、鞆の浦、ばら公園などがあり、街のあちこちにばらが咲いているばらの街でもある。今回の視察の目的である「パ撮ローズ」は市民通報アプリで、携帯電話にダウンロードして使うものだ。「パトロール」と「撮る」と「ローズ」を合成した名前だという。はじめは変換ミスかとも思ったが、「ぱとろーず」と読む。

福山市は人口は横須賀の 1.2 倍だが、合併に合併を重ね、拡大してきた歴史があり、市域は 518 k m² もあり、横須賀の市域の 5 倍である。山間部も多く、この通報制度を導入したものだ。「道路の舗装の破損や上下水の漏水、マンホール蓋の不具合、などを発見した際に写真と位置情報を合わせて送ってもらう」という仕組みを作った。通報件数も今年 4 月 20 に開始して、半年で 488 件。主に、道路の陥没、穴ぼこがそのうち 8 割。写真と場所が市民通報で送られている。

担当者からは、より円滑で迅速な対応が可能になったと高評価ではあったが、費用対効果では、これまで人件費をかけて行っていた一斉点検などの回数を減らすことができれば、より軽減にはなり、効果もでると考えているとのことであった。

横須賀に必要かといえ、市域の広さ等も考えれば福山ほどの効果を得られる可能性は低いが、使い方ではメリットもあるかもしれない。相模原市がこのアプリを開発したと聞く、担当部局に有効性も確認しながら検討する余地もある。

また、福山市では「土木常設員」という制度を持っていて、地域の道路の管理・破損修理の対応等の橋渡し役をしていることから、この制度についての質疑も多くあった。



◎兵庫県神戸市 ヴィッセル神戸練習場 いぶきの森球技場について

神戸市については、東の横浜、西の神戸として国際的な貿易港としてまた、産業文化の発信基地として重要な位置を占めている都市である。今回は本市に横浜マリノスの本社と練習場の誘致が久里浜に決定したことから、Jリーグのヴィッセル神戸の練習場として活用しているいぶきの森球技場について視察させていただいた。残念ながら現地視察とはいかなかったが、担当課の職員から経過と現状について話をさせていただいた。面積は53,317㎡あり、天然芝グラウンド2面に、人工芝グラウンドが1面。それにクラブハウス・駐車場といった施設だ。費用は神戸市が整備費約6億6千万の約半分の3億1500万を負担している。市からの持ち出しがあることから、市民利用についても土日を中心に100コマ程度利用しているほか、サッカー協会主催大会の開催や講習会なども積極的に行っているという。地域貢献を軸とした会場利用がされている。本市もマリノスとどういった市民利用のスキームができるのか注目したい点である。

